

埼玉とともに未来へ飛躍！

30th

SAITAMA
LADIES KEIEISYA
CLUB

30周年記念誌

 サイタマ・レディース経営者クラブ

サイタマ・レディース 経営者クラブが 創立30年を迎えました



会長
増井 千恵子

昭和62年7月6日、女性経営者の学びの場として埼玉県の「レディース・トップ・スクール」に参加されたことをきっかけに、私たちの先陣となる方々が参集して「サイタマ・レディース経営者クラブ」が結成されました。爾来30年を迎え、ここに創立30周年記念式典を挙行し、記念事業を開催、記念誌を発刊できますことは、まことに喜びに堪えません。

今日まで充実、発展してこられましたのは、埼玉県知事上田清司様をはじめとする関係各位の皆様の深いご理解と、熱心なご支援・ご指導を頂きました賜物と心から感謝申し上げます。

私達は、設立から会の主旨に添い「研鑽を積み、企業のトップとしての向上を図ると同時に埼玉県の産業振興に貢献すること」を目的としています。会員相互の親睦と連携を図り情報交換をすると共に、経営者としての研鑽の場として様々な事業を行っています。

埼玉県と一緒に継続的にセミナーを開催、その他、関東経済産業局、埼玉大学、金融機関等と広く情報交換やセミナーを共同開催しています。

ここ数年、人口減少、少子高齢化社会等の時代の要請により、女性の社会的活躍を推進する「埼玉版ウーマノミクス」が全国にさきがけ唱えられ様々な形で実践されています。ウーマノミクスとは女性がいきいきと夢を持って活躍することができるよう社会進出を進め、女性が得た収入を消費や投資に使い、それが地域経済の活性化につながるように取り組んでいくということです。

企業においては男性と同様に女性の活躍、推進が新しい活性化に繋がるよう、更に年齢・国籍や民族の異なる人々が、多様化する世界を前に、互いの文化的違いや価値を受け入れ、尊重し、新たな組織の創造を目指すことが重要な意味を持つといわれています。グローバル化に拍車がかかる社会の中で、企業は柔軟な対応で生き抜く能力が求められるようになりました。現在の日本は変化の激しい不安定な経済状況にあり将来が懸念される状況となっています。

創立30周年の節目にあたって、これまでのよき伝統を踏襲しつつ、これからの新しい時代にあった特色ある会作りに邁進し、さらなる発展に向け努めてまいりたいと思います。今後とも皆様の一層の御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本記念誌に御祝辞や玉稿を賜りました皆様方に、厚く御礼申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

創立30周年を祝して



埼玉県知事
上田 清司

このたび、サイタマ・レディース経営者クラブがめでたく創立30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

会員の皆様には、平素から県政の推進に格別の御協力をいただくとともに、本県産業の振興のために御尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴クラブは、県の実施したセミナーに参加された女性経営者の皆様が、企業のトップとして更に研さんを積み、本県産業の振興に貢献することを目的に自主的に設立されました。

これは男女共同参画社会基本法が成立する10年以上も前のことであり、当時、都道府県レベルでは全国初の女性経営者団体として大いに注目を集めました。以来、各種の研修会や先進事例視察等、経営の知識や教養などを高める事業を精力的に実施してこられました。

全国に先駆けて「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を展開し、女性の力で経済の活性化を目指している私といたしましては、貴会は誠に頼もしく心強い存在です。増井会長をはじめとする歴代役員並びに会員の皆様の経営に対する熱意と、これまでの並々ならぬ御努力に深く敬意を表する次第です。

さて、この30年を振り返りますと、バブル景気とその崩壊、リーマンショック、中国経済の台頭など、経済環境は目まぐるしく変化してきました。また、東日本大震災が多くの被害をもたらしたとともに、防災対策や原子力政策などに大きな影響を与えました。そして今日、我が国の人口が減少に向かうという大きな転換点を迎えています。

今後の10年を見ますと、本県では75歳以上の高齢者が全国一のスピードで増加する一方、生産年齢人口は大幅に減少していくことが予測されています。

このような中であっても、経済の活力を維持し高めていくために、県では、次世代産業の育成・集積を目指す「先端産業創造プロジェクト」の展開、企業誘致の推進、県内企業の99.9%を占める中小企業の生産性を高める経営革新の支援など、「稼ぐ力」を高めるための取組に力を入れています。

さらに、県民一人一人がその能力を最大限に発揮できるよう、女性やシニアの活躍など、「人財」の育成にも積極的に取り組んでいます。

貴クラブの皆様は、組織を率いるリーダーシップとともに、女性ならではのしなやかな発想力を備えておられます。これからも、会員間の異業種交流を通じてその発想の幅を更に大きく広げていただき、優れたビジネスモデルを次々と生み出すことで、埼玉の「稼ぐ力」をより一層高めていただくことを大いに期待しています。

また、皆様には、今後ともウーマノミクスのトップランナーとして御活躍いただくとともに、女性の社会進出の先達として、後に続く多くの方々の希望の星となっていただきますようお願いいたします。

結びに、貴クラブの限りない御発展と、皆様のますますの御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げて、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。





創立30周年を祝して

初代会長
山口 政子

「サイタマ・レディース経営者クラブ」が、創立30周年を迎えられたこと、まことにおめでとうございます。創立当初に参加した者として、この上ない喜びと、感謝の気持ちでいっぱいです。

思い起こせば今日まで、激動の時代の中にあっても、女性経営者の会員の皆様と、それをとりまとめる役員の皆様、そして適切な運営を引き受けて下さる埼玉県担当者の皆様、これらの方々のすばらしいチームワークによって、この会は一層の躍進を遂げられたことと存じます。

世界はますますグローバル化し、この会が発足した当初とは隔世の感がございます。

時代の変化の激しさは想像を絶するものでありますが、その中にあっても、時として母であり、妻であり、そして経営者でもある皆様方は、その逞しさと、しなやかさと、優しさ細やかさを持って何事も真摯に立ち向かって行かれることでありましょう。その時必ず、明るい未来が開けることと、確信いたします。

ここに、「サイタマ・レディース経営者クラブ」のますますの御発展と、皆様方のすばらしい御活躍を心よりお祈り申し上げまして、御挨拶といたします。



2代会長
杉尾 幸江

「サイタマ・レディース経営者クラブ」の会員の皆様、30周年おめでとうございます。

こうして30周年を迎えることが出来たのも上田県知事をはじめ、行政の方、また会員の皆様のご尽力の賜物と深く感謝しております。30年前、畑県知事時代に県庁主催の経営者研修会が開催され、女性経営者塾、若手経営者育成塾(工業、商業)、この3グループで研修がスタートしました。終了後に、女性経営者のみ会が発足され、今に至っております。

初代会長の山口政子会長の下、副会長を仰せつかり、山口会長の采配が素晴らしく、当時の私は、会長の発想と行動力についていくのが精一杯でした。何とか頑張り、2代目会長をお引き受けしましたが、何と言っても女性経営者の会ですから多彩な方々ばかりでしたので、会議をまとめるのが大変だったことを記憶しております。また、たくさんの人脈にも恵まれ、とても楽しく充実したサイタマ・レディース経営者クラブライフを送らせていただきました。ありがとうございます。

結びに会員の皆様の益々のご活躍とサイタマ・レディース経営者クラブのさらなるご発展をお祈りいたします。



サイタマ・レディース経営者クラブ
30周年を祝して

3代会長
城戸 重子

「サイタマ・レディース経営者クラブ」が30周年を迎えられました事を心よりお祝い申し上げます。私は3代目会長として20周年の記念事業に関わらせて頂きました。

会が発足してから20年間は、社会情勢・経済情勢共に変化の激しい状況でした。バブル経済崩壊後の苦しい状況を乗り越えるため、知恵を出し合って時節に合わせた研修会を開催し、会員同士の交流を図りながら時代の波を乗り越えた経験は、会員一同の大きな力となったと思います。

楽しい思い出も沢山あります。「さいたま博覧会」「世界デザイン博覧会」等を見学し見聞を広める事が出来ました。国際親善に熱心だった土屋知事の時代には、オーストラリア、メキシコ、ドイツ、ニュージーランド、中国等5回の海外研修旅行にも参加させて頂きました。個人では出来ない貴重な体験を沢山させて頂き、視野を広げられた事は現在も大きな財産となっております。会の益々の発展を祈念してお祝いのご挨拶とさせていただきます。



4代会長
大竹 映子

私が、会長に決まりましたのは、総会の1ヵ月前でした。

丁度、城戸会長の年度で、20周年が終わりそれを機に、大勢の退会者を出してしまいました。会員増員をどうしようかと皆さんと考え入会の案内書を作り、いろいろな所に置かせていただき、セミナーのときに皆様にお配り致しました。

また、県の当時担当していただきました春田さんも一生懸命に会社訪問の時等に、配って下さいました。感謝でした。

何よりも、この時期は、変化を求められていました。この難しいときに役員を受けてくださった方々に大変感謝いたします。

当時、役員会も毎月ではありませんでした。その為に入会を希望された人にも書類が届くのが遅くなってしまい、大変お叱りをいただいたこともございました。その為、役員会を毎月第2火曜日と決め、委員会も増やしました。そして決定を委員会(委員長)をお願いいたしました。一つ、一つが手探りでした。

いつも私自身が気をつけることは、「会員のための役員である」ということでした。

いずれにしましても、会長の器を持ち得ない自分がクラブの「舵取り」は、大変でした。苦しくも有り、楽しくもあった4年間だったと思います。



30周年を迎えるにあたり

常任相談役
5代会長
雪山 光恵

「サイタマ・レディース経営者クラブ」30周年を迎えられましたこと心からお祝い申し上げます。

多くの会員様との出会いに接し、女性ならではの刺激を受けながら行動し経験を積み学びをいただきました。

女性が経営をしていくなかで、県産業労働部のお力添えがあったからこそ、県との共催セミナー、講演会等で学びと情報を得、今日を迎えることが出来ました。

近年の女性の活躍は目覚しく、国、県を上げて女性が働きやすい環境作りを後押しして下さっております。30年前とは大きな違いで、女性の意識も変化向上し、今年は女性の都知事誕生、アメリカの大統領選挙、韓国女性大統領の失態、女性の活躍等が、話題となりました。

5年8ヵ月前の東日本大震災を受け福島第一原発の事故に見舞われ、まだ解決してない事には、心が痛みます。今年の研修旅行には、企画交流委員会の発案で陸前高田被害地を訪問、現地の状況説明を受け、大変意義ある研修旅行ときいております。少子高齢化社会に突入した現在、30年の歴史と良き伝統を守りつつ、改革を重ね時代を先取りするクラブでありますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

1987~2012

(S62~H24) 年度

25年を

年度	月	事業
1987		サイタマ・レディース経営者クラブ設立
1988		88さいたま博覧会見学／京都奈良宿泊研修
1989		愛知宿泊研修／世界デザイン博覧会見学
1990		長野宿泊研修／5周年記念祝賀会
1991		千葉宿泊研修／5周年記念講演会
1992		滋賀・奈良宿泊研修／日帰り研修会「島崎株式会社工場見学」5周年記念誌発行
1993		熱海宿泊研修／女性経営者支援セミナー
1994		オーストラリア海外研修／女性経営者支援セミナー
1995		静岡研修懇親旅行
1996		ウイメン・アントレプレナーズ フォーラム参加／広報誌創刊号発行
1997		メキシコ・アメリカ研修旅行／10周年記念講演会
1998		女性経営者企業家支援セミナー／10周年記念誌発行
1999		ブランデンブルグ州経済訪問団に参加／女性経営者起業家支援セミナー
2000		女性経営者企業家支援セミナー／クイーンズオークランド州親善訪問団に参加
2001		女性経営者企業家支援セミナー／ブランデンブルグ州姉妹県州協定
2002		中国山西省太原20周年締結式参加／15周年記念誌発行
2003		講演会「中小企業よ、攻めの経営に徹しなさい。」
2004		SKIPシティ見学会／セミナー「持続的成長企業の条件」
2005		ホームページ完成／新春講演会「強い会社を目指して」
2006		20周年記念式典／記念誌発行
2007	7月～3月	トップレディース・マネジメントセミナー（全7回）
	11月	研修旅行 長野県別所温泉
2008	2月	女性のチャレンジと働く場の男女共同参画推進フォーラム
2009	2月	新春講演会 弁護士 住田 裕子氏
	3月	埼玉県女性農商工連携推進会議
	6月	経営革新法セミナー
	10月	女性経営者・起業家支援セミナー
2010	9月・3月	経営の現場で学ぶ研修会
	11月	観劇会「モーツァルト」帝国劇場にて
2011	9月～3月	トップレディースセミナー（全3回） 法政大学教授 坂本 光司氏 他
2012	2月	新春講演会（株）イエローハット創業者 鍵山 秀三郎氏
	7月	第1回ウーマノミクス推進事業セミナー 経済評論家 勝間 和代氏
	9月	会員交流会「雅な秋を堪能する会」 岩槻の老舗企業訪問と経営者による講話



メキシコ・ティオティワカンの遺跡の上で



中国山西省太原にて



2009年 総会



第1回ウーマノミクス推進事業セミナー

振り返って

会長	知事	世の中の出来事(年)
山口政子	畑和	<ul style="list-style-type: none"> ・国鉄民営化 ・北京天安門事件 ・青函トンネル&瀬戸大橋開通 ・昭和天皇崩御、元号「平成」に改元 ・3%消費税施行 ・日本人初の宇宙飛行士秋山豊寛氏宇宙へ ・雲仙普賢岳大火砕流発生 ・ソビエト連邦崩壊
	土屋義彦	<ul style="list-style-type: none"> ・PKO協力法成立 ・ボスニア・ヘルツェゴビナ内戦 ・北海道南西沖地震 ・法隆寺、姫路城、屋久島、白神山地世界遺産 ・オウム真理教松本サリン事件 ・関西国際空港開港 ・オウム真理教地下鉄サリン事件 ・青島東京都知事、横山大阪府知事誕生 ・クローン牛ドリー誕生 ・地球温暖化防止「京都議定書」採択 ・長野オリンピック ・NPO法施行 ・日銀ゼロ金利政策実施 ・地方分権一括法、民事再生法、介護保険法、ストーカー規制法施行
杉尾幸江		<ul style="list-style-type: none"> ・小泉内閣発足 ・改正JR会社法施行 ・FIFAワールドカップ開催 ・DV防止条例施行
城戸重子		<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市が政令指定都市に移行 ・SARS大流行 ・アテネオリンピック ・新紙幣発行 ・郵政民営化関連法案成立 ・中部国際空港開港 ・安倍内閣発足 ・トリノオリンピック
大竹映子	上田清司	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県中越沖地震発生 ・平均寿命が過去最高に（男性79・00歳、女性85・81歳） ・福田首相が辞任 ・麻生内閣発足 ・金融危機が世界に波及 ・株価暴落 ・政権交代 ・鳩山内閣が誕生 ・新型インフルエンザ死者相次ぐ ・尖閣諸島で中国漁船が巡視船に衝突 ・チリ鉱山落盤事故、69日ぶりに作業員33人全員を救出
雪山光恵		<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災と東電福島第一原発事故 ・北朝鮮の金正日総書記が急死、世界に波紋 ・ノーベル生理学、医学賞に山中教授 ・米大統領選でオバマ氏が再選

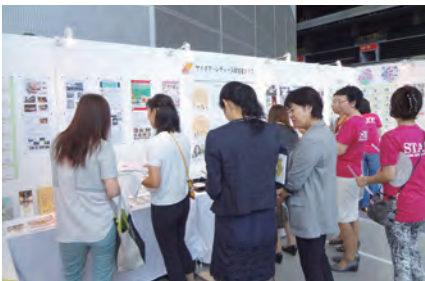
2013

(H25) 年度

会長 増井千恵子

知事 上田清司

月・日	事業
6月3日	1 総会 ※会報誌26号発行(With You さいたま) 2 講演会(With You さいたま) 講師 経済産業省 関東経済産業局 産業部長 萩原 富士久氏 「個の力とその新たな結びつきを通じた新産業の創出 広域関東圏の特徴を踏まえた地域としての新産業創出戦略」 3 懇談会(ホテルプリランテ武蔵野)
9月14・15日	SAITAMA Smile Womenフェスタ出展(さいたまスーパーアリーナ)
19日	ヴェニス商人観劇(彩の国さいたま芸術劇場 大ホール)
11月13日	研修委員会事業セミナー(新都心ビジネス交流プラザ) 講師 埼玉県警察本部交通部交通指導課主席調査官兼次席 澤登 真珠枝氏 「第一線で働くために…何が私の『支え』となったか」
12月17日	ミニセミナー(新都心ビジネス交流プラザ) 決定! 2020年東京五輪「東京プレゼンテーション完全版一挙上映」
2月10日	1 新春講演会(With You さいたま) 講師 株式会社吉香 代表取締役社長 吉川 稲氏 <small>きっかわ いね</small> 「女性の感性を活かしたイノベーション」 2 新春懇談会(ホテルプリランテ武蔵野)
3月18日	企画交流委員会事業(首都圏外郭放水路) 企業視察研修会 株式会社サイサン「ガスワンプーク上尾」



SAITAMA Smile Women フェスタ



ヴェニスの商人観劇



新春講演会

月	世の中の出来事
6月	ユネスコの世界遺産委員会は日本の富士山(三保松原を含め)を世界文化遺産として登録決定
9月	2020年のオリンピックの開催地が1964年以来56年ぶり2回目の「東京」に決定
12月	日本の「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録
12月	特定秘密保護法成立
2月	関東甲信で、観測史上1位となる記録的な大雪
2月	ロシアのソチで冬季五輪が開催された

2014 (H26) 年度

会長 増井千恵子

知事 上田清司

月・日	事業
5月20日	ミニセミナー(With You さいたま) 講師 株式会社リンパ・ヘルス・ジャパン 代表取締役 木村 友泉氏 「がんこな肩こりを治してアンチエイジング」
5月28日	1 総会 ※会報誌27号発行(With You さいたま) 2 講演会(With You さいたま) 講師 経済産業省 経済産業政策局経済社会政策室長 坂本 里和氏 「成長戦略としての女性活躍推進について」 3 懇談会(ホテルブリランテ武蔵野)
7月27日 ～8月1日	埼玉県・クイーンズランド州 友好提携30周年記念 友好親善訪問の旅
9月13・14日	SAITAMA Smile Womenフェスタ出展(さいたまスーパーアリーナ)
10月21日	ジュリアス・シーザー観劇(彩の国さいたま芸術劇場 大ホール)
11月12日	研修委員会事業セミナー(新都心ビジネス交流プラザ) 講師 作家・営業コンサルタント 和田 裕美氏 「誰でもリーダーになれる3つの約束」
12月16日	ミニセミナー(新都心ビジネス交流プラザ) 講師 司法書士 柴 由之氏 「あなたが、若しくはあなたの家族が認知症になったとき、どう対応するか -後見ないしその周辺の法的対応について」
2月2日	1 新春講演会 ※会員手帳配布(With You さいたま) 講師 筑波大学人文社会系教授 石塚 修氏 「茶の湯文化に学ぶ-経営に生きるもてなしの心-」 2 新春懇談会(ホテルブリランテ武蔵野)



「ジュリアス・シーザー」観劇



オーストラリア親善訪問の旅 レセプション



オーストラリア親善訪問の旅

月	世の中の出来事
4月	4月1日から消費税率が『5%→8%』
6月	『富岡製糸場』が世界遺産に登録
9月	御嶽山が噴火
10月	青色LEDを開発した、赤崎勇氏、天野浩学氏、中村修二氏がノーベル物理学賞を受賞
3月	北陸新幹線開通

2015 (H27) 年度

会長 増井千恵子

知事 上田清司

月・日	事業
4月21日	ミニセミナー(新都心ビジネス交流プラザ) 講師 NTT東日本本社ビジネス開発本部 福嶺 翼氏 「マイナンバー制度セミナー」
5月28日	埼玉ウーマンズカフェ(武蔵野銀行共催事業)(新都心ビジネス交流プラザ)
6月12日	1 総会 ※会報誌28号発行(With You さいたま) 2 講演会(With You さいたま) 講師 国立大学法人 埼玉大学 学長 山口 宏樹氏 「地域活性化拠点としての埼玉大学—Bridgeのもつ二つの意味を交えながら—」 3 懇談会(ホテルブリランテ武蔵野)
9月12・13日	SAITAMA Smile Womenフェスタ出展(さいたまスーパーアリーナ) ※ワークショップ開催、ブース展示 講師 JR東日本 執行役員、大宮支社長 阪本 未来子氏
10月20日 28日	新入会員ウェルカムランチ(新都心ビジネス交流プラザ) セミナー(With You さいたま) 講師 大東文化大学教授 瀬戸口 律子氏 「琉球の学生たち」
11月10日 16日	埼玉ウーマンズカフェ(武蔵野銀行共催事業)(新都心ビジネス交流プラザ) 「わたしのターニングポイントと経営」 埼玉大学共催事業(埼玉大学総合研究棟シアター室) 「私らしく輝く」
11月20・21日	研修旅行(静岡市伊藤)
12月15日	ミニセミナー(新都心ビジネス交流プラザ) 第一部 「在宅ワーカー活用セミナー」 講師 (株)キャリア・맘 代表取締役 堤 香苗氏 第二部 「女性の力を求めている県内の中小企業へ」 中小企業庁補助事業担当ヒューマンリソシア(株)
2月8日	1 新春講演会(With You さいたま) 講師 アパホテル(株)取締役社長 元谷 芙美子氏 「私が社長です」 2 新春懇談会(ホテルブリランテ武蔵野)



伊東温泉にて



新春講演会

月	世の中の出来事
9月	集団的自衛権の限定的な行使を認める安全保障関連法が成立
10月	ノーベル生理学・医学賞を大村智・北里大学特別荣誉教授ら3人が受賞／マイナンバー始まる
1月	日銀が日本の金融政策で初めてとなるマイナス金利を導入
2月	参加12カ国が環太平洋連携協定(TPP)に署名／2015年国勢調査で人口が初のマイナス 5年で0.7%減
3月	北海道新幹線開通

2016 (H28) 年度

会長 増井千恵子

知事 上田清司

月・日	事業
5月17日	埼玉ウーマンズカフェ (新都心ビジネス交流プラザ4階)
6月7日	1 総会 ※会報誌29号発行(With You さいたま) 2 講演会(With You さいたま) 講師 関東経済産業局 産業部長 渡辺 豊氏 「地域の企業が日本を元気にする 一活用しやすい支援施策と頑張る企業事例」 3 懇談会(ホテルプリランテ武蔵野)
7月7日	SAITEC埼玉県産業技術総合センター 見学会
7月26日	ミニセミナー(新都心ビジネス交流プラザ) 講師 元日本経済新聞埼玉支局長 長田 正氏 「ニュース価値 プロの判断」
8月23日	女性の為の『事業承継セミナー』 (新都心ビジネス交流プラザ4階) 講師 ジュピターコンサルティング株式会社 代表取締役 大山 雅己氏 「女性の為の『事業承継セミナー』を受講して」
8月30日	経営革新セミナー 講師 ジャイロ総合コンサルティング株式会社 渋谷 雄大氏 「今すぐできる! 未来を切り開く販路拡大の具体策」
9月10・11日	SAITAMA Smile Women フェスタ出展 (さいたまスーパーアリーナ)
9月20日	上田知事表敬訪問
10月18日	ミニセミナー(新都心ビジネス交流プラザ) 講師 東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 大宮支社長 阪本 未来子氏 「女性リーダーシップの失敗談・成功談in JR」
11月3・4日	研修旅行(東北視察旅行)
11月15日	埼玉ウーマンズカフェ (新都心ビジネス交流プラザ4階)

月	世の中の出来事
4月	熊本地震、最大震度7
8月	東京初の女性知事、小池都知事誕生
11月	日本が初めて発見の新元素の名前、「ニホニウム」に決定

上田知事表敬訪問

日時●平成28年9月20日(火) 10:00~10:30



平成28年9月20日、埼玉県庁に上田知事をお訪ねしてまいりました。上田知事は、お忙しい業務の中でも、いつもあたたかい笑顔とウイットに富んだ会話で私たちサイタマ・レディース経営者クラブのメンバーを迎えてくださいます。

知事室は木調で整えられ、お部屋も素朴ながらもあたたかく迎えてくれました。知事室の木材は、県内各所の木材を利用しているとのことでした。埼玉県には「農林部森づくり課」があり木材の利用推進をされていますので、「木を使うにしても気を遣う」とユーモアをおっしゃりながらも、上田知事自ら県内木材の利用を率先推進されている様子でした。

9月は、県内外で台風の様々な被害がありましたので、災害についてのお話しになり、水のリスクについて断面図を提示して、いろいろと教えていただきました。見沼たんぼなどは、水害の防止にも大変役立っているとのこと。見沼たんぼは現在、散歩道としても有名になっていますので、農業だけでなく、災害防止だけでなく、観光地としても活用しているところが埼玉県らしく、私たち経営者も見習わなければと思います。また、海の無い埼玉県は水害、治水の両面からのリスク管理が必要であり、多角的な戦略で県民を守っていく力は、大変なものだと感じました。

最後に、平成29年はサイタマ・レディース経営者クラブの30周年記念式典へのご出席をお願いして、知事室を後にいたしました。上田知事にお目にかかり、



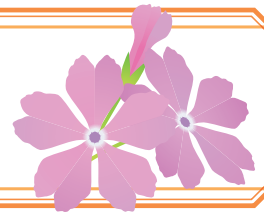
私たちサイタマ・レディース経営者クラブのメンバーも勇気と元気を頂戴することができました。



(文:下村信子社会保険労務士事務所 下村信子)

平成28年度 総会・講演会・懇談会

日時●平成28年6月7日(火)



定期総会

15:00～15:45

埼玉県男女共同参画推進センター セミナー室1,2

司会担当の町田総務委員長の開会宣言により、サイタマ・レディース経営者クラブの平成28年度定期総会が開

催されました。議長に増井会長が選任され、各議案について、慎重に審議し、可決承認されました。

(文:広報委員会)

講演会 埼玉県女性経営者支援セミナー

16:00～17:25

埼玉県男女共同参画推進センター セミナー室1,2

演題 「地域の企業が日本を元気にするー活用しやすい支援施策と頑張る企業事例ー」

講師●関東経済産業局 産業部長 渡辺 豊氏

「地域の企業が日本を元気にする」と題して、7つのポイントでの多様な事例をお話し下さいました。

1. クールジャパンを世界に売り込め
2. 伝統の技を守り抜け
3. 超高齢化時代の社会的課題に応える企業事例
4. おもてなし企業経営で躍進する企業事例
5. 普段の経営革新努力により、発展し続けている会社がある
6. 活用しやすい支援施策
7. 2016年版中小企業白書から

前段で最近のトピックスを、インバウンド（訪日外国人）が年間2千万人に近づいており、その視点から見た日本ということで、「日本の当たり前が日本の魅力」という視点の重要性を話されました。

「日本の魅力」として、数々の「絹」にまつわる事例をご紹介します。

- 埼玉県の絹織物、秩父銘仙
- 富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録
- この世界遺産を核として、絹の道プロジェクトが進んでいるということ
- 光る絹糸でおられた光る着物
- 福島県川俣町の世界で最も薄い絹織物フェアリーフェザー絹から転じ、衣類全般の事例もご紹介いただきました。
- 前掛けを新たなコンセプトで提供
- 女子高生のリボン
- 履き心地にこだわった高級靴下

その他、数多くの事例により、本来持っている強みを

より意識した戦略的な展開が必要であるという認識を深めることが出来ました。

さらに、創業100年を超えた企業が日本では2万7335社もあり、それも日本の強みであるということで、先の富岡製糸場の民間最後のオーナーでもある片倉工業についての話を頂きました。

かつてシルクエンペラーと呼ばれた片倉工業の片倉家は、その10か条の家訓で「質実剛健」「従業員を家族のように扱う」ということが示されていたとのこと。片倉家の家訓は、いわば経営理念であり、それが明示されていることが重要なのではないかとのご指摘でした。

元気な地域の中小企業に共通するポイントは「経営理念を明示し、実践浸透させているところ」と分析、まとめとして次の3項目を話されました。

- ①日本は古来から女性が輝いてきた国

天照大神は女性であり、八世紀から女性が和歌、日記、さらに小説を発表してきた

- ②日本のモノやサービスは世界中を席卷してきた

人口減でも労働生産性を上げる知恵とイノベーションがある

- ③その救世主は、女性をはじめさまざまな人がはたらく中小企業

私たち女性経営者は、これからの経済を支える担い手であるという認識を新たに、さらなる意欲をもって独自性の高い事業に取り組もうという意欲が湧く、講演会でした。

(文:有限会社河野経営研究所 河野律子)



懇談会

18:00～20:00

ホテルブリランテ武蔵野2階 エメラルド

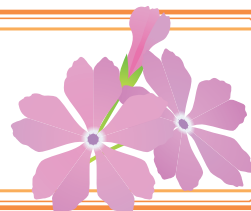
講演終了後、懇談会を開催しました。埼玉県知事上田清司様から、ご挨拶を頂き、また、新たに会員になられ

た方々も多く参加され、賑やかな懇談会となりました。

(文:広報委員会)



平成28年度 経営革新セミナー



基調講演 「今すぐできる！未来を切り開く販路拡大の具体策」

パネルディスカッション

～経営革新モデル企業が語る～「売上げを伸ばした具体的手法を伝授します!!」

●パネラー

株式会社テクニカルフィット 代表取締役 小林 智明 氏
 初野建材工業株式会社 代表取締役 初野 直樹 氏
 増木工業株式会社 代表取締役 増田 敏政 氏

●コーディネーター

ジャイロ総合コンサルティング株式会社
 渋谷 雄大 氏

講師 ● ジャイロ総合コンサルティング株式会社 渋谷 雄大 氏

日時 ● 平成28年8月30日(火) 13:30～16:15

場所 ● 新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室

「幸せの為に仕事をしてほしいです。幸せと合致することを経営革新でやっていくこと。」渋谷講師は、経験から多くの鉄則を披露して下さいました。差別化に、意外な発想に感銘しつつやれば、簡単なことなのです。しかし、思いつかないのです、そんなのどこもやってないし…と実現しない。アイデアを実践するのが差別化、オリジナリティーとなります。

経営は、「悲観的に計画し、楽観的行動する。」自社にとって革新であっても、真似される。しかし、真似される事も予想して計画は立てる。面白おかしくやる。

事例を挙げてわかりやすく、なぜ儲かるのかを解説しながら、経営革新の意義とノウハウを教えていただきました。

次に、パネラーの3社の代表の方々から、具体的な取り組みをお話いただきました。

株式会社テクニカルフィット様は、本業とは異なる商品を開発販売され、とくに販路拡大に売り先、メディアの使い方に創意工夫があり、成功されています。

初野建材工業株式会社様は、産学連携という機会を得て、特許をとられて数々のビジネス賞を受賞するまでに事業が大成功されていきました。その一歩が経営革新に取り組んだことであると力説されていました。

増木工業株式会社様は、創業144年という歴史ある企業ですが、全社員で情報の共有化と社内の結束力が強化されていると感じました。

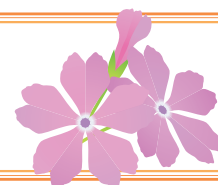
経営革新計画の認定を受けることは、成功への第一歩として、チャンスであることを再認識しました。

(文:川合運輸株式会社 川合恵子)



SAITEC埼玉県産業技術総合センター 見学会

日時 ● 平成28年7月7日(木) 14:00～17:00 場所 ● SAITEC埼玉県産業技術総合センター



埼玉県産業技術総合センター、次いでSKIPシティ彩の国ビジュアルプラザを見学いたしました。

産業技術センターでは、3Dプリンタ、3Dデジタル造形(ものづくり試作)など5設備を視察いたしました。3Dによりここまでできてしまうのかと展示品の精密さに歓声が上がると同時にレディースメンバーから、大いに質問が飛びました。

「守りから攻めへとセンターも方針を切り替えています。センターとは関係ないと思わず(こんなものがないか)と是非、相談してほしい。最終的には、製品化

支援、事業化支援、そして販路開拓支援が目的であり、稼ぐことのお手伝いをしたい。〈人・モノ・設備〉を有し、ニーズに合わせて

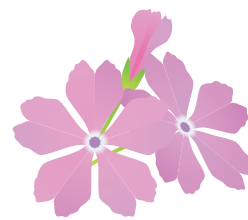
1都10県のネットワークで対応ができるので、利用していただきたい」と印象に残る言葉をいただきました。

(文:ロータリー株式会社 原恵美子)



平成28年度 研修旅行 東北視察旅行

日時●平成28年11月3日(木)～4日(金)
企画●企画交流委員会



11月3日 出発

会員の埼玉自動車交通株式会社様にお世話になり、15名の参加者で出発となりました。

中尊寺

ガイドのご婦人の案内で、駐車場から紅葉の始まった参道を登ると、境内では見事な菊花飾りに迎えられ歓声が上がりました。みちのくといわれ辺境とされた東北に仏の国土を建設した、奥州藤原氏。金色堂は創建当初の姿を今に伝えているとのことでした。螺鈿細工と金箔におおわれたお堂全体が、まるで一つの美術工芸品でした。

「夏草や兵どもが夢のあと」「五月雨の降り残してや光堂」源義経が平泉に落ちのび終わりを遂げた100年の栄華は、芭蕉をはじめ多くの旅人に、在りし日の平泉を偲ばせていました。



2011年6月「平泉の文化遺産」は世界遺産に登録されましたが、3月の東日本大震災被災者への哀悼の意から、大々的な祝賀行事を一切しませんでした、こちらを気にかけていただき、大変ありがとうございます。静御前のお墓のある栗橋へは出向いてお参りをさせていただきました。皆さんとはご縁を感じます。という、別れ際のガイドさんの言葉が皆の心にしみました。

(文:ロータリー株式会社 原恵美子)

高田松原防潮堤見学

中尊寺から一気に海側へ。陸前高田市議会議員佐々木様の案内で岩手県沿岸広域振興局土木部、農林部の職員の方にご説明をいただきながら、高さは、12.5メートルの防潮堤へ登ることができました。強風の中、海は穏やかで、眺めは美しくもあり、人工的で寂しくもありました。しかし、海岸は、回復(養浜)に向け、赤松黒松の立ち並ぶ美しい海岸の復活への努力をなさっていました。

夕日に照らされる奇跡の一本松を眺めながら、追悼と復興を願いました。(文:川合運輸株式会社 川合恵子)



11月3日 夜 酔仙酒造株式会社会長 金野晴彦様のお話

防潮堤を後にし、宿泊先のキャピタルホテル1000に移動。食事の前に、地元の酔仙酒造株式会社会長金野晴彦様から災害と「想定外」についてお話を伺いました。

日本人は古来自然を恐れ畏敬の念を持っていた。防災は畏敬の念で行う。現代人は危険に対し、「自分だけは…(大丈夫)」と考えている。

津波という、壮絶な想定外、災害に付け込んだ脅迫詐欺という想定外を経験したが、素晴らしい援助、支援という想定外をも経験されました。

日本は、素晴らしい支援に支えられていることに救いを感じ、最悪を想定し最善を尽くし、社員とともに人間力を育てることが、会社の柱となることと感じ、経営者として、宿題を沢山いただいたお話でした。



(文:川合運輸株式会社 川合恵子)

11月4日

普門寺

ホテルを8:30に出発し、陸前高田で、開山500年になる普門寺へむかい、熊谷住職にご案内をいただきました。普門寺は、他県で茶毘にふされた被災者のご遺骨をすべて引き受け、ご遺族が見つかるまで毎日お供物を上げお参りをし、家族のように見守ってきたとのお住職のお話には目頭を熱くいたしました。震災後に奉納されたたくさんの仏像や、京都知恩院蔵の阿弥陀如来来迎図（複製）には、大災害に苦しむことなく仏様の迎えが来るといふ、慈悲の世界が広がっています。普門寺は曹洞宗であり、曹洞宗は、お釈迦様、観音様、阿弥陀様をご本尊とするため、受入が可能であったとのことですが、並大抵のお気持ちではなしえなかったことだと思います。朝の光に映えた三重塔のあるお庭は実に見事で、心地よい空気を吸い込み2日目スタートしました。

(文:ロータリー株式会社 原恵美子)



陸前高田市市長表敬訪問

普門寺を後にし、急ぎ陸前高田市役所へ。

戸羽市長は、陸前高田市の現状を丁寧にご説明下さいました。海拔0メートルの中心市街地は、山側の半分の土地に10メートルの盛り土をして町を作り、海側半分の土地には、人が住めなくするとのことでした。12.5メートルもの高さが続く防潮堤、あちこちにある10メートル分の土の塊には、異様さ、違和感を拭えませんでした。

この地に住む方々の土地に対する考え方、生き方を踏まえながら、国の政策に基づき、「0」から、街をつくることのできるという素晴らしい機会を最大限に活かし、ノーマライゼーションのまちづくりの実現を目指す。バリアフリーではなく、バリアバリューという考えで実現していく。人口2万人、その全員の総活躍の実現を目指しておられます。

市長のお話を伺い、数年先のこの街を見てみたいと、新生陸前高田市を訪問する日を想像していました。

震災から5年を過ぎましたが、私たちは忘れない、他人事にしないことが大切であることを肝に命じ、東北の皆様の復興を祈念いたします。

(文:川合運輸株式会社 川合恵子)



SAITAMA Smile Women フェスタ

「働く」を考えるロールプレイ&ワークショップ

日時 ● 平成28年9月10日 11:50~13:00

場所 ● さいたまスーパーアリーナ展示ホール

共催: 埼玉大学男女共同参画室

演題 これからの「女性の働き方を考える」セミナー

本年度も9月10日~11日に、埼玉県主催のSAITAMA Smile Women フェスタが開催され、「さいたま・レディース経営者クラブ」も両日出展、初日には、セミナースペースにて、埼玉大学男女共同参画室と共催で、「女性の働き方を考える」セミナーを実施しました。セミナーは、社員数50名程度のサービス業という架空の企業「(株)ARASHI」で、初めて女性社員が妊娠し、「産前・産後の休暇や育児休業に企業としてどのように取り組むか」について、埼玉大学の学生と「さいたま・レディース経営者クラブ」の会員で役割を決めて、ロールプレイを2チーム行いました。その後、その企業の対応について、参加者がグループに分かれてディスカッションをするというものでした。

ロールプレイは、なんとなく女性社員の妊娠に戸惑い厳しい発言をしてしまうパターンと女性社員の妊娠をきっかけに働き続けられる環境を整えようと前向きに考え

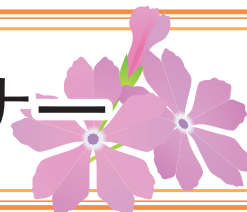
るパターンに上手くわかれた感じでした。「セリフは決まっていなかった」と聞きましたから、皆さんの役者ぶりに感嘆いたしました。

現在の大学生を見ていると、あまり男女の差を感じることなく成長しているように思います。その差が顕著になるのは、女性が妊娠したときではないでしょうか。よって、学生にとっては、ロールプレイやグループディスカッションで、まだ身近な問題と感じていなかった将来の問題を考えるきっかけになったと思います。また、企業側にとっても、改めて、働き続けられる環境を整えることが企業の存続・発展に繋がることを確認できたのではないのでしょうか。この企画は、女性経営者団体である「さいたまレディース経営者クラブ」だからできたといっても過言ではないと参加して感じていました。

(文: 山口社会保険労務士・行政書士オフィス 山口恵美子)



埼玉県女性経営者支援セミナー



演題 「ニュース価値 プロの判断」

講師 ●元日本経済新聞埼玉支局長 長田 正 氏

日時 ●2016年7月26日(火) 13:30~15:00

場所 ●新都心ビジネス交流プラザ

個人でもインターネットを使って情報を発信、共有できる時代だからこそ送り手が客観的な伝え方をしているも受け手の判断が複雑化してきているのではないかと思います。

プロは報道するに当たって自由と使命、責任を持ち伝えることを裏付けるため取材を行いそれは取材先との信頼関係を構築した上でこそ成り立つとおっしゃられておりました。人と人の信頼関係が希薄になりがちな世の



中ですが事業をやっていくにあたって信頼関係を築き伝え方の工夫をしていくことが重要だと感じました。

(文:株式会社飯塚商店 飯塚美恵)

演題 「女性リーダーシップの失敗談・成功談 in JR」

男性社会の中でのトップとして…女性経営者に一言。

講師 ●東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 大宮支社長
阪本 未来子 氏

日時 ●2016年10月18日(火) 15:00~17:30

場所 ●新都心ビジネス交流プラザ

旧国鉄がJRに移行して2年後の1989年(平成元年)に入社された阪本様。女性の比率はわずか0.9%の職場であったそうです。入社されたきっかけは、①面接官に魅力を感じたこと、②国鉄改革後の新しい風に魅了されたことでした。鉄道用地における「キノコ栽培」、掘削地から湧き出した清水を「大清水」として販売するという、鉄道事業とはおよそかけ離れた仕事をされたことがあるというのですから驚きです。

しかし、労働基準法の壁による残業規制、男女平等と叫ばれていても根強い「男の仕事」が中心で、たとえ男性の2倍働いても「女の仕事」としてできることが限られ、拡がらない女性の仕事に「もっと何かできないのか」といつも考えていたそうです。水戸支社勤務で「管理者」となり、「〇〇べき」論と「職圧」で仕事をしているうちに「組織」に馴染めなくなった時期もあったとか。その後、びゅうプラザ上野の助役に就任し、21名中14名が女性の職場で大活躍されました。

そして、渋谷駅の副駅長に就任。駅を使いやすく駅ナカを綺麗に変身させたことは、やはり女性の視点があっ

てこそ力ではないでしょうか。また、本人が気づかない姿を「投稿」という形で知ることになり大変落ち込まれたそうですが、それも転換期となりさらに飛躍を遂げ、お客様サービス部課長へと昇進。駅の大改革を行って来られたことが、大宮支社長というお立場に繋がっていることを語って下さいました。



「上位職になると悪い情報が入りにくい。入ってこないものだと自覚し、報告の必要性を説き、報告を当然ととらえず、報告に感謝し、その感謝を直接伝えることがトップには必要」というアドバイスには大変共感を覚えました。そして「ワークライフバランスは人それぞれだけれど、自分磨きには、身体を労ることも忘れないようにすること」は、女性経営者にとって大切なことであると痛感した大変意義深いセミナーでした。

(文:司法書士ちく事務所 知久公子)

女性の為の『事業承継セミナー』

共催：埼玉縣信用金庫

演題 ～知的資産経営を活用した「事業」の「承継」～

講師 ● ジュピターコンサルティング株式会社

代表取締役 大山 雅己 氏

日時 ● 平成28年8月23日 14:30～17:00

場所 ● 新都心ビジネス交流プラザ4階

平成28年8月23日 新都心ビジネス交流プラザ4階にて、ジュピターコンサルティング株式会社 代表取締役大山雅己先生による「女性の為の『事業承継セミナー』」が開催されました。定員50名が満席となる、大盛況のセミナーでした。このセミナーのサブタイトルは「自社の事業の意義・魅力・価値(自社らしさ)を再認識し持続的成長を図る取り組み～知的資産経営を活用した「事業」の「承継」～」というものです。大山先生は冒頭から「今日はお金の事は言いません」と。相続税対策ではなく、自社の事業をいかに「継続」させていくかが大切かということでした。税理士の私としては出鼻をくじかれた感じではありましたが、お話を聞いていると、なるほど「事業」の本質を滔々と述べられておりました。

自社の事業の意義は？ 魅力は？ 価値は？

創業者の方であれば、その創業時の思いは並々ならぬものがあつたと思います。しかし、次の世代に承継させるときは「なんとなく」や「二代目なんだから当たり前」ではなく、しっかりとその意義や価値を認識させ、その事業そのものをいかに継続させつないでいくか、経営課題として捉えることが事業承継の取り組みであるということでした。

また創業時の時代背景と現在の時代背景の違いを理解し、今、自社の事業の流れはどの様になっているのか、



自社はもちろん、取引先や得意先の変化にも注意を払い、滞りなく事業が継続していけるよう、さらに将来に向けて事業の価値を生み出していく源泉になるものは何かと常に考え、自社の強み、弱みを把握していく。というまさに「事業」の本質について、強い意識を持って取り組んでいかなければならない…と。

埼玉県の実業承継率は約30%だそうです。つまり70%は事業承継に問題を抱え後継者が不在という事です。この率にもとても驚いてしまいましたが、埼玉県には「埼玉県事業引継ぎ支援センター」というところがあります。

事業の存続に関する様々な課題の解決を支援する公的な相談窓口ということです。後継者がいないという事は経営者に何かあつた場合「事業」はそこで終わってしまいます。そこで働く従業員、取引先に大きなダメージを与えてしまいます。なんでもない今だからこそ「事業」を「継続」させるために考えていかなければならないのだと痛感しました。

最後に税理士として、取引所の相場の無い株式はその評価方法はとても計算が複雑で顧問税理士や会計士の先生に相続が発生してないのに「1株いくら？」と計算を依頼すると結構な値段を請求されてしまいます。しかし、今だから自社株式の1株の評価額を知っておく事が相続対策になります。取引所の相場が無い株式なので「現金化」はとても難しいのです。

業績の良い会社ほど相続が突然発生した場合、相続人の困惑は大きいものです。「お金の話」も大切ですね。

(文：小澤恵美税理士事務所 小澤恵美)



経営力アップ♪ 埼玉ウーマンズカフェ

日時●平成28年5月17日(火) 14:00~16:30
 場所●新都心ビジネス交流プラザ4階



演題 第1部 パネルトーク「継続は力なり！私の仕事～過去、現在、そして未来～」

演題 第2部 ワールド・カフェ「女性が働き続けること、働き続けるヒント」



埼玉ウーマンズカフェは、66名が集い開催されました。第1部のパネルトークでは「継続は力なり！私の仕事～過去、現在、そして未来～」をテーマに、当会副会長である司法書士ちく事務所の知久公子氏、外部からは榎本農園の榎本房枝氏をお迎えし、コーディネーターとして中小企業診断士 高重和枝氏により進められました。知久氏は合格率2%という司法書士の資格を取得するまでのご努力、女性司法書士という存在が希少ななか、女性ならではの目線、柔らかな心を持ちながら男性にはできないことを率先してお仕事として実践されたお話でした。現場での奮闘や、県内初となる司法書士会女性会長としての4年間の経験談、そして事業承継など未来戦略としてのご自身の使命を語っていただきました。

また、榎本氏は400年の歴史ある農家に生まれ、生い立ちや、調理師から農業女子への転換、生産物を需要の多いミニトマトに切り替えた営業戦略を掲げ、国内有名デパートへの販路開拓や海外でのプロモーションなど積極的に行動されたパワーあふれるお話でした。今後、企業とのコラボ製品の開発など発想力豊かなさらなる挑戦を熱く語っていただきました。お二人は異業種ではあるものの、共通することはそれぞれ幾度と壁にぶち当たっ

ても使命感を持ち、あきらめずに積極的に進んでいく。又、女性の持つ粘り強さと柔らかさの中に、ぶれない1本の軸を持ち、自信や誇りをもって仕事に取り組むお二人の姿は生き生きと輝き、参加者の皆さんはたくさんの刺激を受けました。

第2部のグループディスカッション（ワールド・カフェ）では、「女性が働き続けること、働き続けるヒント」をテーマに、自分の考えを発言し、他者の意見を聴き、コミュニケーションツールでもある、テーブルの大きな模造紙にキーワードやスケッチを自由に描く時間は活気あふれるものとなりました。参加者それぞれの考えや経験を本音で出し合う中で、次々と出されるアイデアに共感したり、違った角度からの考え方や新たな発見など、様々な業種の参加者たちの笑顔で楽しい女性トークは尽きることはありませんでした。お互いに刺激を受け、有意義なものとなりました。

女性経営者・企業家・創業希望者が集う埼玉ウーマンズカフェは、今後もネットワークの構築のみならずお互いにスキルアップできる良いきっかけとなるでしょう。

(文:株式会社トミタモーターズ 富田伯枝)



編集後記

今回の会報は、サイタマ・レディーズ経営者クラブ30周年記念式典にあわせた記念特別号です。当クラブ発足から今日までの歩みを新たな会員の方にも知っていただく良い機会かと思えます。編集にあたり、女性活躍の先駆けとして、未来を見据えて活動されてきた布石が、ウーマノミクスで開花しつつあることを実感しております。当クラブの益々の発展と埼玉県の産業発展につながりますよう、今後も力を合わせて活動して行きたいと思えます。

広報委員…小松、川合、原、入江、荒井、飯塚、岡村、木村、栗原、下村、和泉、鈴木、久賀、河野、小林、伊東、和泉、相木

30th



SAITAMA LADIES KEIEISYA CLUB

30周年記念誌「30th」

発行日 ■ 平成29年2月9日

発行 ■ サイタマ・レディース経営者クラブ
会長 増井 千恵子

事務局 ■ 埼玉県産業支援課 経営革新支援担当 tel. 048 - 830 - 3910

印刷 ■ 関東図書株式会社 tel. 048 - 862 - 2901